

【2011年の営巣状況】

2011（平成23）年5月13日現在の営巣状況

【現在、営巣は3つがい。2つがい^{ふか}でヒナが孵化。ハヤブサもヒナが孵化。】

2011（平成23）年5月13日現在、十三崖では3つがいのチョウゲンボウが営巣しています。巣穴は、上流側に1つ、下流側に1つ、そして2006（平成18）年に築造した人工巣穴に1つです。

上流側の巣穴では、ヒナが孵化しました。少なくとも2羽のヒナを確認しています。

昨年最も上流側で営巣し、8羽のヒナが巣立った巣穴の中にはミツバチ類の巣があり、最近、ミツバチ類の活動が活発になってきました。他の穴にもミツバチ類は出入りしているようです。ハヤブサも活動が活発で、チョウゲンボウに攻撃する姿が見られています。また、現在営巣している人工巣穴よりも下流に、2か所の人工巣穴があります。最近、これらの巣穴を覗き込む非繁殖個体も観察されています。

今年はハヤブサが繁殖しました。ハヤブサのヒナが成長するにつれ、親鳥の採餌活動がさらに活発になるかもしれません。チョウゲンボウのヒナが巣立つ頃、どのような状況になるのか、観察を行う必要があります。

2011（平成23）年6月5日現在の営巣状況

【現在、営巣は3つがい。いずれも巣内^{いくすうき}育雛期。2つがい^{ふか}で巣立ち直前。ハヤブサは1羽のヒナが巣から外へ移動。】

2011（平成23）年6月5日現在、十三崖では3つがいのチョウゲンボウが営巣しています。巣穴は、上流側に1つ、下流側に1つ、そして2006（平成18）年に築造した人工巣穴に1つです。

上流側の巣穴では、4羽のヒナを確認しました。巣立ち直前です。下流側の巣穴も4羽のヒナを確認し、こちらも巣立ち直前です。人工巣穴でも育雛中ですが、ヒナはまだ姿を見せてくれません。

ハヤブサは1羽のヒナが巣から外へ移動し、残りの2話は巣内にいます。

最近、チョウゲンボウもハヤブサもオス親がせつせと餌を巣へ運んでいます。また、オス親がなかなか餌を持ってこない時は、メス親も狩りに出かけます。ハヤブサのチョウゲンボウへの攻撃は、以前より少なくなったように思われます。チョウゲンボウのヒナが巣立てば、ハヤブサとチョウゲンボウの親鳥がどのような行動を行うのか、観察を行う必要があります。

2011（平成23）年7月28日現在の営巣状況

【チョウゲンボウもハヤブサも営巣が終了し、十三崖で姿を見ることはありません。】

2011（平成23）年7月28日現在、チョウゲンボウもハヤブサも営巣が終了し、十三崖で姿を見ることはありません。

6月20日頃、人工巣穴のヒナ6羽が巣立ちました。今年の十三崖は3つがい営巣し、合計14羽のヒナが巣立ちました。

心配されたハヤブサの影響については、成長やヒナが直接捕食されるといったことはありませんでした。しかし、巣内育雛期では、餌を持ち帰ったチョウゲンボウのオスが、ハヤブサのオスに攻撃を受ける場面が何回も見られました。また、昨年まで5年連続して営巣していたハヤブサの巣の直下に位置するチョウゲンボウの巣穴では、今年は営巣せず、このことから、ハヤブサが十三崖のチョウゲンボウの営巣状況に影響を与えたと考えられました。

ハヤブサは3羽のヒナが巣立ちましたが、その後すぐ1羽のヒナとオス親の姿が見えなくなりました。その2羽はどこかへ移動したのかもしれませんが。巣立ち後のチョウゲンボウのヒナは、ハヤブサから攻撃されることもなく、飛行や採餌の練習を行い、7月7日には巣場所から離れて行ってしまいました。

十三崖周辺にはチゴハヤブサも生息しています。現在は時々その飛翔する姿が見られています。